

stories

広報 かわねほんちょう

満開の桜並木の下で
笑顔も花開く

徳山の桜まつり会場に多くの人出
満開のソメイヨシノとすたれ桜を愛でる

徳山の春の到来を告げる桜まつりは3月27日から4月11日まで開かれ、満開を迎えた桜並木の下、花見に興じる多くの人でにぎわいました。会場で出会った山崎圭太さん、三井里紗さん（共に浜松市）は「今日はSLを見に来ました。途中立ち寄った茶茗館で、ここの桜がきれいだと聞いたので足を延ばしてみたんです。ゆっくり歩きながら、きれいな桜を楽しんでいます。SLも見ることができて大満足です」とにっこり話してくれました。

2010

5

No.55

バスのあした

特集の「その後」

地域住民の期待を乗せ、昨年春に発進した町営バス北部路線試験運行を終え、4月1日から本格運行がスタートした。具体的に何が変わったのか、なぜ変わる必要があったのか。そのあらましについて紹介する。

北部路線のおよらい

町営バス北部路線は昨年4月1日に運行を開始した。「巡回型」と「デマンド型」の併用による運行方式を採用。町の中心部から離れた地区が多い本町の実情を考慮した。

平成21年度中は試験運行と位置付け、利用状況を見ながら課題点を探り、平成22年度からの本格運行に上げる方針とした。

北部路線運行開始により、合併前から運行している南部路線と併せ、町営バス路線網は町全域へと広がりを見せた。

北部路線の特徴ともいえる2つの

運行方式。一つは、大井川鐵道千頭駅を発着点として、北部地域の中心部を巡回する「巡回型（3ルート）」。

もう一つは、点在している地区と中心部を直接結ぶ「デマンド型」。この2つの異なる方式を、1台の車両で運行した。

デマンド型交通を採用した理由。

それは、巡回型では点在する地区すべてをカバーするのが困難だからだ。本町のような山あいの町では、ルートが長大になってしまい、1便に時間がかかり過ぎてしまう。誰も乗っていないでも時間どおりに巡回しなければならぬなど、デメリットも多かった。その点デマンド型は、タクシーに近い運行方式であり、点在

する地区に直接向かうことができ、本町に適した運行方式といえた。

デマンド型は巡回型と違い、予約のない日は運行する必要がない。このため燃料費など、経費の節約にもつながる。

昨年試験運行された北部路線のデマンド型では、月曜日は〇〇地区、火曜日は〇〇地区というように、曜日によって出向く地区が限定されていた。

このため「病院に行きたい」「買い物に行きたい」といった住民のニーズに、柔軟に対応することは難しかった。車両1台で、巡回型もデマンド型もこなしながら、できるだけ多くの予約に対応できるようにと配慮した、苦肉の策ともいえた。

町営バスは育成途中

昨年の広報かわねほんちよう4月

号で取り上げた「特集バスのあした」。その

の序章で述べたように、バスという乗り物は、住民ニーズに合わせ、地域の実情を踏まえ、その運行形態を変えていくことができる。いわば「成長する乗り物」である。

昨年一年かけて実施された北部路線の試験運行と次ページで述べるアンケートの結果によって、運行形態は大きく変化を遂げることとなる。本町に一番適したバスの形。それは今も「育成途中」だ。

北部路線の実態調査

北部路線の試験運行中の昨年12月、担当課では「北部地域における交通施策に関するアンケート調査」を実施した。北部地域の交通実態と、町営バスの利用状況を把握するのが狙い。総合支所や本川根診療所、いやしの里診療所などの来訪者に対して実施された。

調査に協力してくれた116人のうち、「北部路線を知っている」と答えた人は11人。運行から約1年、北部路線の周知については、ほぼ成功したと見ていいだろう。しかし「利用したことがあるか」との設問に対して「ある」と答えた人は17人。約8割

北部路線に何が必要だったのか

試験運行実施中の昨年12月、北部地域で3回に分けて公共交通に関するアンケート調査を実施した。巡回型、デマンド型双方について、見えてきた「改善すべき点」とは何だったのか

の人は「知っているが利用したことはない」という結果だった。

その理由を見てみると「利用する機会がない…35人」「自家用車の方が便利だから…32人」「できるだけ徒歩で移動するようにしている…12人」「自分の都合とダイヤが合わない…12人」などの回答が多く見られた。ただし「運賃が高いから」という回

答は一つもなかった。アンケート結果を総括すると、北部路線の存在についてはほとんどの人が知っていると見てよいようだ。運行から1年、各戸回覧や広報紙などによる周知が効果を上げていっていると思われる。実際にまちなかでバスを見かけた人も多いということもあるだろう。にもかかわらず、利用した

ことがあるという人の数は、約7割にとどまっているのが現状だ。

町営バスの場合、行きはよいが、帰りが時間が合わなくて困る。1時間以上待つくらいなら歩いて帰るか、タクシーを利用した方が手取り早いと考えている人が多いようだ。

利用目的については「診療所へ通院する」がもっとも多く、ここに重点を置くダイヤやルートの再設定が求められていると判明した。

町営バス以外の交通手段であるタクシーや外出支援サービスなど、利用者は、その場その場に合った交通手段を選択しているようだ。

●町営バス（北部路線）に求めること・地域住民の声

利用者が少ないので、もっと増える方法を考えて（千頭など数人）
町営バスを継続して欲しい。なくなったら困る（桑野山など数人）
徒歩や誰かの車に便乗するから必要ないが今後は分からない（奥泉など数人）
行きはいいが、帰りの便は時間が合わなくて利用しにくい（小長井など数人）
急に利用したいときにも使えるようタクシー的な運用を（奥泉など数人）
車を運転できるので、特に関心がない（大間など数人）
南部地域のバス路線とも行き来できるようにしてほしい（小長井など数人）
バス停が自宅から遠いため不便を感じている（寺馬など数人）
デマンドの曜日指定と自分の予定とが合わない（柳三など数人）

北部地域における交通施策に関するアンケート

調査日 平成21年12月16、18、21日
調査箇所 総合支所、本川根診療所、いやしの里診療所、JA本川根支店、福祉センターの5カ所
回答者数 116人
(うち男性35人、女性81人)



特集の「その後」 バスのあした



結果を踏まえ

どのようなふうに変わったのか

【おでかけ巡回】・【おでかけデマンド】と、名称も新たに本格運行をスタートさせた北部路線
 利便性の向上を狙った改正が、随所にちりばめられている
 ポイントは「よりデマンド型にシフトした運行形態」だ

【おでかけ巡回】

① ルートの変更
 これまでの巡回路線は、大井川鐵道千頭駅を発着点として、①千頭巡回・②小長井巡回・③田代・上岸巡回の3ルートを設定。公共性の高い施設間などをつないで巡回していた。これまでの利用状況を考慮し、利用の少ない路線について見直しを図った結果、ルートは2路線に減。利便性は保ったまま、より実情に即した巡回路線へと移行した。

② 運行時間の変更

診療所への通院や、総合支所やJA本川根支店への手続きなどに利用しやすいよう、朝1番、午後1番の運行時間を設定した。

③ 運行日の変更

これまで年中無休で運行していた巡回路線は、平日のみの運行に。土・日曜、祝日は巡回せず、おでかけデマンド(左ページ)での対応となる。

※運賃は、これまでと変更なし。下の表3「運賃表」のとおり。

表1 ルート：診療所巡回 (平日のみ)

停留所	第1便	第2便	第3便
1 千頭駅	7:50	8:15	12:50
2 本川根診療所	7:52	8:17	12:52
3 地域振興センター(総合支所)	7:53	8:18	12:53
4 JA本川根支店	7:55	8:20	12:55
5 新聞堂前	7:57	8:22	12:57
6 文化会館	7:59	8:24	12:59
7 いやしの里診療所	8:00	8:25	13:00
8 千頭駅	8:03	8:28	13:03

表2 ルート：田代・上岸巡回 (平日のみ)

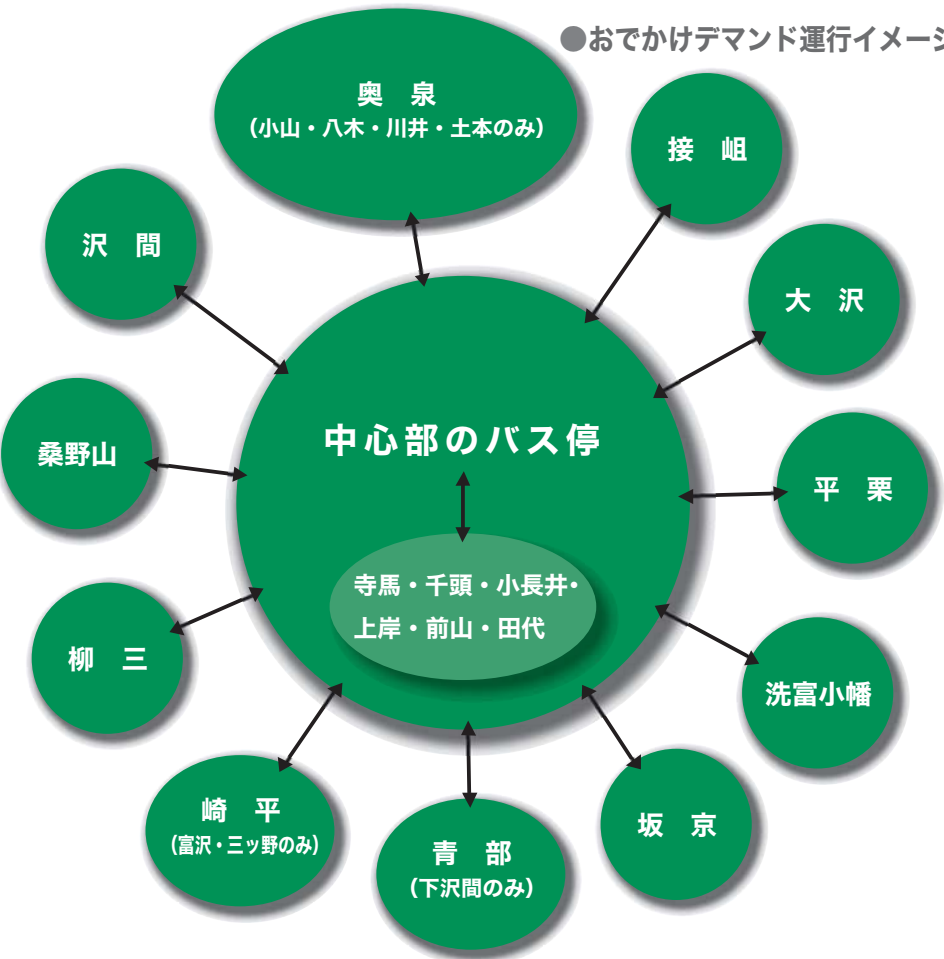
停留所	第1便	第2便
1 千頭駅	8:30	13:05
2 本川根小学校	8:31	13:06
3 田代	8:34	13:09
4 福祉センター	8:38	13:13
5 上岸集会所	8:40	13:15
6 B & G 海洋センター	8:42	13:17
7 いやしの里診療所	8:44	13:19
8 文化会館	8:45	13:20
9 新聞堂前	8:47	13:22
10 本川根診療所	8:50	13:25
11 地域振興センター(総合支所)	8:51	13:26
12 JA本川根支店	8:53	13:28
13 千頭駅	8:55	13:30

表3 ●おでかけ巡回運賃

区分	大人	中高生 75歳以上	幼児 小学生 障害者
運賃	200円	100円	50円
回数券 (11枚)	2,000円	1,000円	500円
定期券 1カ月	7,200円	3,600円	1,800円
定期券 3カ月	20,520円	10,260円	5,130円



●おでかけデマンド運行イメージ



【おでかけデマンド】

① 曜日指定がなくなる

今回の改正で大きく変わったのがデマンド型の運行形態だ。これまでの「曜日指定」が撤廃され、「○曜日はどこの地区」と、曜日

を気にする必要がなくなった。これにより、デマンドの使いやすさは格段に向上している。

運行時間

平日 午前9時～12時

午後1時30分～6時

休日 午前7時50分～午後6時

※休日とは土・日・祝日のこと

② デマンド対象地域が拡大

これまでデマンドの対象外だった北部中心部の地区(寺馬、千頭、小長井、上岸、前山、田代)もデマンドを利用できるようになった。また、

これまで巡回路線3ルートを基本とし、そのほかの地区をデマンド型で補完する形態だった北部路線。今回の改正により、デマンド型を中心とした運行形態に移行していくこととなる。

●おでかけデマンド 利用方法

大鉄タクシーに電話で、①利用する人の名前 ②利用日時 ③乗降場所を伝えてください。その際、必ず「おでかけデマンド」の申し込みであることを伝えてください。当日の申し込みでも、ほかに申し込みがない場合は利用できますが、できるだけ早めの申し込みをお願いします。

同時刻に同方向への申し込みが重なった場合、相乗りとなりますのでご了承ください。

大鉄タクシー ☎ (59) 2355

1年間の試験運行を経て より利便性の高い北部路線に

昨年末に実施したアンケートにより、巡回路線の利用実態やデマンド型の手応えなどが分かりました。「知っているが、使ったことはない」という人が思いのほか多かったですね。また、近年の健康志向の高まりを受け、「歩く」人が増えており、巡回路線については思ったより需要がないことも判明しました。これらの結果を踏まえ、巡回型・デマンド型双方について見直しを図りました。さらに使いやすくなった町営バス北部路線を、ぜひご利用ください。



企画課環境室 久保圭弘 主査



低価格茶のニーズが高まっているが、おいしければ値が高くても売れる

今後の茶業を語り合う お茶みらい座談会60人参加

地域住民有志のまちづくりの会「かねね四季の会」が主催するお茶みらい座談会。今年にはハラダ製茶(株)の原田康代表取締役社長を招いて開かれました。先行き不透明な経済情勢の中、今茶業界に必要なものとは。現場レポート。

原田さんは「お茶の現況については過剰感がある。マイナス思考が蔓延してきてしまっている。低価格茶への嗜好へと移行しているが、そんな時代でも『おいしければ高くても売れる』傾向にある」。など、具体例を挙げ

「かわね四季の会（太田起博代表）が主催するお茶みらい座談会」は3月20日、フォーレなかかわね茶茗館を会場に開かれ、町内外の茶業関係者など約60人が参加しました。ハラダ製茶(株)原田康代表取締役社長を招いて開かれた座談会（講演）会では、厳しい国内外の茶業界の現況や消費者の嗜好の変化などについて、広い見識とグローバルな視点で講演。参加者は真剣な表情で耳を傾けました。

お茶の現況と未来について熱く語ったハラダ製茶(株)原田康代表取締役社長



会終了後は、受賞茶を飲みながら情報交換。みな、茶業の不安定な状況に熱心な意見が交わされていた。

会終了後には、第48回静岡県茶品評会1等1席・農林水産大臣賞を受賞した川根香味園のお茶を飲みながら一服タイム。ここでも、今年が一番茶の作柄などにについて、参加者同士、熱心に情報を交換していました。

「質問が投げかけられました。お茶農家の女性からは「昨年からのインターネット販売を始め、どのようにして顧客を獲得すればいいか」と質問があり、それに対し原田社長は「インターネット市場は広く、誰もが簡単に算入できるので、そこで成果を上げるのは非常に難しい。まずはホームページを見てもいいこと（消費者が飲んでみたいと思うようなお茶のパッケージなど）の工夫が必要であり、地道に努力することが大切」と答えました。

ながら話し、また今後の茶業の展望について、茶業以外の分野と融合する必要性について提案されました。「ただお茶を売るだけではなく、飲み方などの雰囲気づくりの演出が必要な時代です。観光と結び付けるなど、どうしたらおいしく感じられるのか」というイメージ戦略が必要「です」。



乳幼児のころから木と触れ合う環境をつくる

木の温かさに触れよう 園児たちに積み木の贈り物

町産業課ではこのほど、県の支援を受けてFSC森林認証木の積み木を製作。町内の各保育園などにプレゼントしました。きっと今日も子どもたちは、温かみのあるこの積み木で遊んでいます。

本町は、静岡県が進める「しずおか林業再生プロジェクト推進事業」の支援を受け、FSC森林認証木製の積み木を製作し、町内保育園、幼稚園、子育て支援施設の計5カ所にプレゼントしました。この積み木は、FSCで認証された町有林のスギを材料として、ひのき屋(藤枝市)が製作したもので、丸太10本から8,800個が製作され、スギ製の茶箱に詰められています。この事業は、乳幼児のころから木と触れ合う環境をつくる「木育」の事業の一環として位置付けられています。町の資源・産業である林業への理解を深めていくと共に、森林環境保全の認証制度であるFSC森林認証の啓発を図ることを目的としています。

一般的に、積み木の材料には硬い広葉樹が好まれています。4月3日、三ツ星保育園に出向いた佐藤公敏町長は、園児たちに直接、積み木を手渡ししました。プレゼントされた三ツ星保育園の上野園長は「スギの積み木は軽くて、軟らかさがあり、また温かみがあります。乳幼児が安全に楽しく遊べます」と喜んでいました。



茶箱にきれいに納められたスギ製の積み木。平成21年度しずおか林業再生プロジェクト推進事業の支援を受け製作された。事業費は約89万円。材料のスギは、FSC森林認証林の町有林スリバチクボから搬出された丸太10本、8,800個製作され、各園1,760個ずつプレゼントされた。

これは積み木としての機能を重視するためです。針葉樹の場合はヒノキがほとんど。スギは、軽さや硬度、弾力性、温かみなど子ども向けとして利点が多く、そのほかにも赤色と白色のコントラストや木目の美しさなど独特の特長があります。その一方で、それがそのまま欠点となってしまう場合もあるようです。担当課では今回、あえてスギ材を採用しました。スギの特質や欠点とされている部分を乳幼児のころから肌で感じて欲しいと願いが込められています。



見たつもり、点検ミスが事故まねく ～ヒューマンエラーをなくそう～

畑仕事中の事故に注意 春の農作業安全運動実施中

県下全域で「春の農作業安全運動」が展開されています。ここ10年、全国での農作業中の死亡事故はほぼ横ばいの状態で推移しています。単純ミスを防ぎ、安全な農作業を心がけたいものです。

産業課 ☎ (56) 2226

4月1日から5月31日までの2カ月間、県下全域で「春の農作業安全運動」が展開されています。

農作業事故は、毎年全国で数多く発生しています。農作業中の死亡事故（全国）は、平成19年が397件。過去10年にわたり、ほぼ横ばいの状態にあります。農業従事者が減少している中、10万人当たりの件数は増加している状態で、全産業の中でもトップクラスの発生件数となっています。

県内でも8人の死亡事故を含み、多数の農作業事故が発生しています。農業用機械による事故に加え、畑での転倒や転落による事故なども見られます。

春は、茶生産者の事故が発生しやすい季節です。平成21年には、春の農作業安全運動期間中にもかかわらず、連続して茶生産者の死亡事故が発生しています。新茶の時期は、摘採作業に加え、工場での荒茶製造など、長時間・長期間にわたる労働になり、注意力の低下が懸念されます。できるだけ適度に休息をとり、心身ともに健康な状態で作業しましょう。

【農作業事故を防ぐ5つのチェック・ポイント】

- 1 農業用機械の管理・利用は適切に**
毎日の作業前には、必ず日常点検を実施しましょう。また、定期的に整備工場で整備しましょう。
- 2 適度な休息を取りましょう**
長時間労働は、注意力を低下させ、事故をまねく要因となります。適度に休息をとり、心身ともに健康な状態で作業しましょう。
- 3 小型機械でも油断大敵**
歩行用トラクターなど小型の機械でも、使い方を誤れば死亡事故につながります。十分注意して操作するよう心がけましょう。
- 4 農業機械以外にも注意を**
農作業中の死亡事故は、機械によるもの以外にも焼却作業中に火傷や転倒、熱中症など多岐にわたって発生します。すべての農作業に危険が伴うと認識しましょう。

農作業事故の多くが、単純ミスによるものであり、注意すれば防ぐことができます。チェックポイントを確認し、事故の原因を取り除きましょう。



FM島田と川根本町が災害時放送協定を締結

町外通勤者に情報提供 FM島田と災害時放送協定

FM島田と川根本町が「災害時放送協定」を結びました。本協定は、町外通勤者に対して大きなメリットがあると担当課では話しています。それは一体なぜなのでしょう。

総務課 ☎ (56) 2220

一昨年10月、島田市に開局した地域コミュニティラジオ局「FM島田」。島田、藤枝、焼津など可聴エリアの地域情報や地元的话题をFMラジオで提供しています。

今年発生したチリ地震の際には、津波警報を放送するなど、地域住民が必要とする情報をいち早く提供。災害時の情報源としても、大きな役割を担っています。

このFM島田と川根本町はこのほど、災害時放送協定を結びました。同協定の締結は、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町に続いて5自治体目です。FM島田の可聴エリアに川根本町は含まれていません。しかし本町には、島田市や藤枝市など町外に通勤する人が多くいます。今回の協定には、こういった町外通勤の人に対して大きなメリットがあると本庁総務課地域支援室では話しています。「大きな災害発生時には帰宅困難となる人が多く発生する可能性があります。そういった人たちが、FM島田を聞いて災害情報を

仕入れたり、本町の状況を知ることには大きな意味があります。万一の際の情報伝達手段として、有効活用していきたいと考えています。

調印式は3月29日午後2時、本庁応接室で開かれました。この日出席したFM島田の内藤洋一代表取締役社長と佐藤公敏川根本町長が、互いに協定書に調印し、災害協定が締結されました。この協定は同日から効力が発生するということです。

佐藤公敏町長は今回の契約締結に対し「現状、本町でFM島田を聞くことはできませんが、町外に通勤されている方などにとって、非常に有効な情報ツールとなりえます。今回の協定締結は『安心・安全なまちづくり』への一つの手段。今後も、さまざまな機関と協力して、災害に強いまちづくりを進めていきたいと思っています」と話していました。



静岡地方気象台は、平成22年5月27日（予定）から、気象警報・注意報を、市町を対象として発表します。川根本町に、大雨による災害発生のおそれがある場合、現在は「中部北に大雨警報」と発表していますが、5月27日からは、「川根本町に大雨警報」となります。

また、大雨警報を発表するときは、特に警戒を必要とする「浸水害」「土砂災害」「浸水害・土砂災害」のいずれかを明示して呼びかけます。

この変更は、警戒を必要とする市町を特定して周知することで、防災行動を今以上に迅速、的確に結びつけられるよう改善するもので、生命、身体、財産を災害から守ることを目指します。

気象台から、各市町ごとに警報・注意報を発表しますが、一番身近な情報入手源

静岡地方気象台ホームページ
<http://www.jma-netg.jp/shizuoka/>
 気象庁のホームページ
<http://www.jma.go.jp/>

静岡地方気象台防災業務課
 ☎054(286)3521



これまで中部北（白枠+灰色枠）と発表されていた気象警報・注意報が、今後、川根本町（灰色枠）と限定して発表されるようになります。

静岡地方気象台からお知らせします 大雨警報など「市町」ごとに発表

総務課 ☎(56)2220

美しい森林づくりを進めています

尾呂久保地区景観保全伐採を実施

本町では、美しい森林づくり基盤整備交付金を受け、宿泊施設ウッドハウスおろくぼ周辺のスギ、ヒノキの人工林を伐採しました。対象林地は、ウッドハウスおろくぼの宿泊客や登山客などが散策する森林で、木材価格の低迷などの理由で間伐（木の間引き）作業が遅れていた人工林地です。

付近には森林管理団体「白羽山はばたきの森に集う会（小澤節子会長）」が活動している彩り豊かな森林もあり、今回の整備と合わせて美しい森林景観エリ



アが整備されます。今回の対象地は、散策ができる保健休養林として指定している森林で、本町森林整備計画で「森林と人との共生林」として機能区分しています。この林地は、木材生産する目的で数十年前に植林した場所です。

伐採された木は、所有者により販売されたり、土木作業に利用されたり、農業用資材として活用されたりと、資源として有効に使われています。



1 スギ、ヒノキが混在する森林の伐採後の様子。木々が間引きされ、林床まで光が差し込む。太陽の光が当たり始めると、下層植生が回復し、土砂流出が減少。生活できる動物類も増えると予想される。しばらくすると木々が生長し、また林内が暗くなってくるため、間引きを繰り返して林内環境を整え、木材の育成を進めていく。

2 伐採後のヒノキ林の樹冠（葉が茂っている部分）。間伐して本数を減らすと、林内空間ができ、光が差し込む。

スギ、ヒノキ人工林は、手を入れなければなりません。また、適正に管理すれば、木材生産機能に加え、森林景観も向上します。また、林床（木が生えている場所）には下層の植生が回復し、微生物、昆虫類、鳥類、哺乳類など林内生物も多

お楽しみライブやコンサートなど 多彩な催し・文化会館の自主事業

文化会館では、今年も多彩なホール事業を企画しています。ぜひご来館ください。

開催日	事業名	事業概要	入場料
8月8日 日	お楽しみライブ	加山雄三芸能生活50周年「若大将が夏を連れてやってきた!」加山雄三トーク&ライブ（仮称）	前売5,000円 当日6,000円
9月3日 金	クラシックコンサート	航空自衛隊中部航空音楽隊コンサート（仮称）	無料
11月5日 金	舞台演劇	舞台演劇（内容未定） 町内各小学校全児童・各授産所 各保育園年長・幼稚園年長・本中の養護学校	小学生のみ 200円
11月11日~14日	静岡県立美術館移動美術展	静岡県立美術館川根本町移動美術展 （県立美術館所蔵品を文化会館で展示）	無料
平成22年1月	文化講演会	出演者・内容未定	無料（予定）

文化会館 ☎(59)3106

安全運転を心がけ

役場が安全運転管理推進事業所に指定

本年度の県指定安全運転管理推進事業所の指定証交付式は4月2日、島田警察署で開かれ、特殊東海製紙島田工場と川根本町役場の2事業所が指定証の交付を受けました。

島田地区協会の435事業所を代表して今後1年間、従業員や職員が安全運転活動に積極的に取り組む、地域の模範となるよう務めるものです。役場でも安全リダーを指定するなど、職員の安全運意識の高揚に努めていきます。



総務課 ☎(56)2220

産業課 ☎(56)22206

各コートで熱い戦いが繰り広げられました。



熱戦を展開！ミストに栄冠

中電杯婦人バレーに約100人が参加

中部電力株大井川電力センター（寺本達也所長）が主催する「第11回中電杯川根地区バレーボール大会」は3月7日、本川根B&G海洋センター体育館で開催され、旧川根町を含む川根地区の婦人バレーボール愛好者ら8チーム、約100人が参加。優勝を目指し、各コートで熱戦が展開されました。

朝方からの雨で冷え込んだ一日ではありましたが、体育館の中はファイナルセットまでもつれる試合が続くなど、終始熱気に包まれていました。

決勝のカードは「ミスト」と「カトリア愛好会」。互いに点を取り合う接戦の末、ミストチームが優勝を飾りました。ミストは本大会初優勝。メンバー全員で喜びを分かち合いました。

準決勝 カトリア愛好会 2-0 フェニックス
ミスト 2-0 エスプリ
決勝 ミスト 2-0 カトリア愛好会

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



約50人が参加した植林とネット張り活動。

大井川の水をはぐくむ植林

「山を守る」は「水を守る」につながる

大井川流域5市2町で構成する「大井川の清流を守る研究協議会（佐藤公敏会長）」は3月21日、尾呂久保地区で「大井川白羽山はばたきの森に集う会（小澤節子会長）」が管理する彩りの森に、広葉樹の植林活動を実施。併せて、白羽山展望台周辺に植栽された苗木に食害対策用のネット張りを実施しました。

本活動には、志太、榛南や中東遠の住民や集う会会員、協議会関係者など約50人が参加しました。

佐藤公敏会長が「大井川の水をはぐくむ森の植林活動は、上下流の交流の中で初めての取り組み。山は海の恋人であり、山も海も大井川も元気であることが一番。山を守る活動を通して、大井川の清流を皆で守りましょう」とあいさつし、作業を開始。午前中は、はばたきの森の会員の指導で、コナラやウメモドキなど約100本を植林しました。



小澤節子さんによる講話を聞く。

午後は小澤節子さんから講話を受けました。小澤さんは「わたしは、南アルプスの地質・地形や地域の人々が山を守っている活動などに触れ、50年前の林業、低迷する現在の林業、山を守ることが困難になった現状をどうにかしていきたいと感じていた。そのため、都市部の人たちの力を借りてボランティアで森づくりをしている。今日、植林した木が大きく育つまで頑張って育てていきたい」と話しました。

参加者からは「大井川の水に重要なかわりのある『山』に触れることができた。水は有資源。清流を守るために、多くの人が山に林業に関心をもって欲しいと改めて感じた」と感想が聞かれました。

最後に、集う会から参加者全員へオオデマリやロウバイなどの苗木がプレゼントされ、春の大井川中流域の植林は終了しました。

野菜づくりの収益金を寄付

本小の子どもたちの善意が届けられ

本川根小4年生（平成21年度時点）は、昨年取り組んだ「野菜づくり」で得た収益金を福祉センターに贈りました。保護者から苗の提供を受け、生き物係を中心に丹念に育てられたカボチャ、ゴーヤ、ミニトマトなどの野菜を、保護者や先生が購入。その収益金3,204円を寄付したものです。子どもたちは「野菜を育てる楽しさを知ることができました。寄付もとても喜ばれてうれしかったです」と話していました。



福祉センターで寄付金を直接手渡しました。

健康増進に役立てください

中川根南部小児童からの贈り物届く

中川根南部小学校は3月16日、デイサービスセンターかわねに健康用具を贈りました。同小では、アルミ缶や牛乳パックの回収活動を実施しており、その収益で購入したもの。贈呈式は同小体育館で開かれ、児童代表が伊藤光徳施設長に直接健康用具を手渡しました。後日、施設の職員にたずねると「利用者の皆さんが毎日楽しく使ってくれています。筋力の維持にとっても役立っています」とうれしそうに話していました。



贈呈の様子。中川根南部小では、アルミ缶約880キログラム、牛乳パック約500キログラムを集めたとのこと。

北海道北広島市で3月27日から29日まで開催された第4回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会（主催：財団法人日本空手道連盟・北広島市）に、坂下くるみさん（千頭）が県代表として出場しました。本大会は国体に準じたトーナメント戦で実施され、くるみさんは3回戦に進出する健闘を見せました。

この結果にはまだまだ満足していないと語るくるみさんは、次のようなコメントを寄せてくれました。「大会では、これまでない緊張感を味わいました。試合会場にいるすべての選手が自分より強く感じてしまったほどです。目標だった1回戦突破は果たすことができたが、同時に課題も見えてきました。これからも、支えてくれる皆さんに感謝し、毎日練習を重ねていきます。いつか自分が理想とする空手を実現できるように、頑張っていきたいと思います」。

理想の空手を目指して精進

坂下くるみさん空手の全国大会出場



向上心はつきない様子のくるみさん。今後の頑張りに注目です。

Topics

川根本町の まちの話題

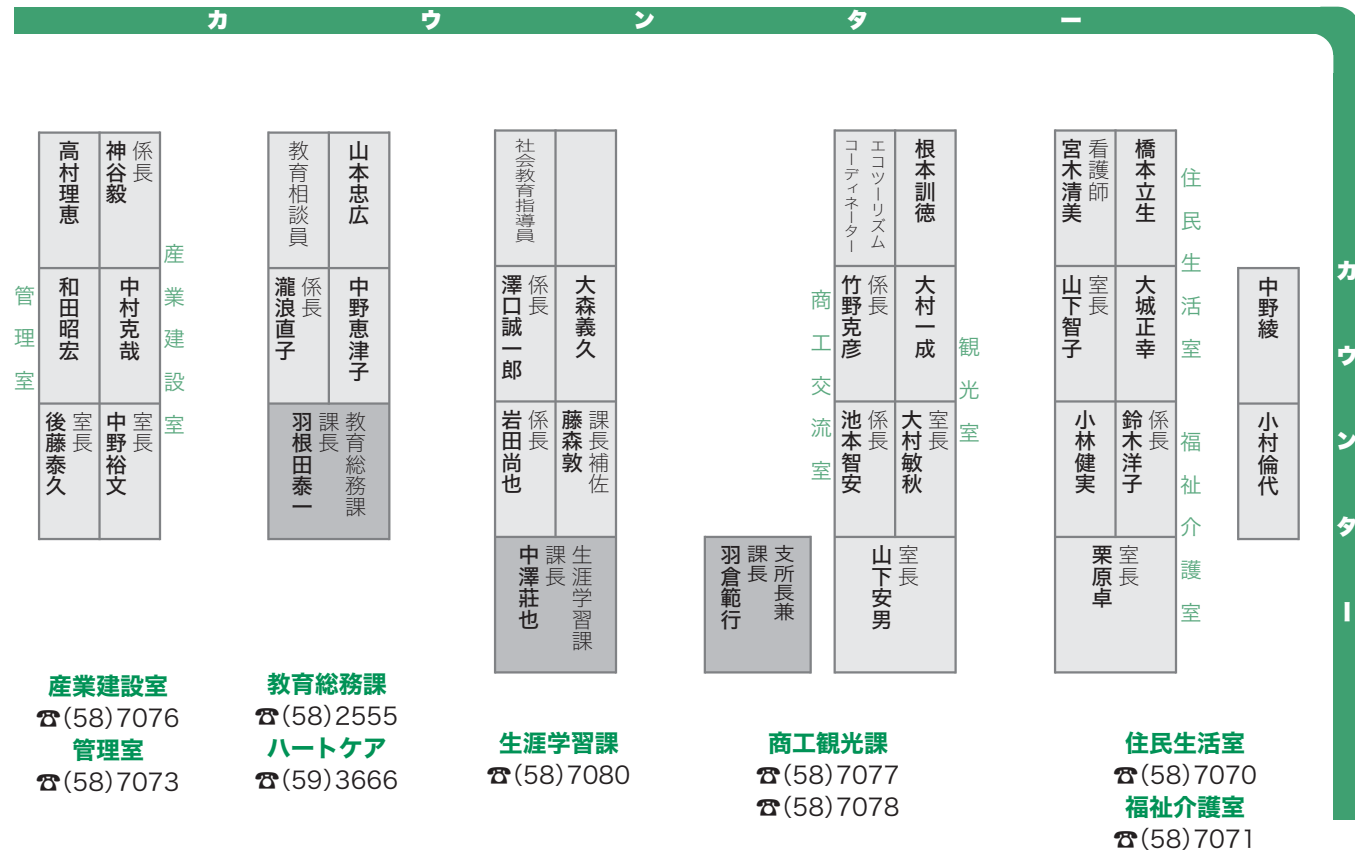
役場職員の配置をお知らせします



平成22年度の役場職員の異動・配置が発表となりましたのでお知らせします。お問い合わせの際などにご活用ください。なおこの配置図は総務課作成の職員座席表（平成22年4月1日現在）に基づき作成しています。なお、役職については係長以上と専門職などに付しています。

川根本町役場本庁 〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾627 総合支所 〒428-0411 榛原郡川根本町千頭1183-1
役場本庁代表 ☎(56)1111 FAX(56)1117 またはFAX(56)2235
総合支所代表 ☎(59)3111 FAX(59)3116 またはFAX(59)4025

【問】総務課 ☎(56)2220

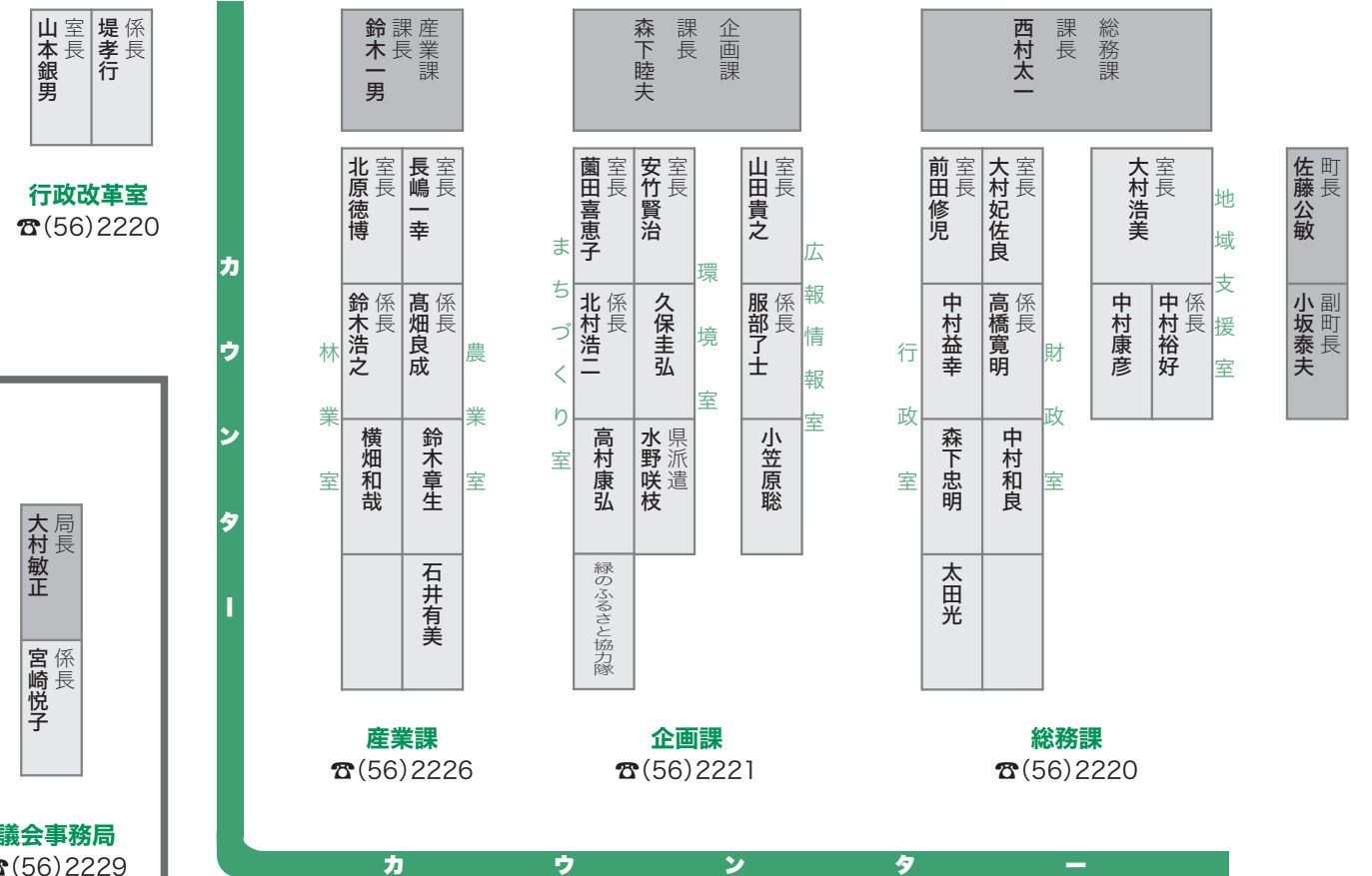
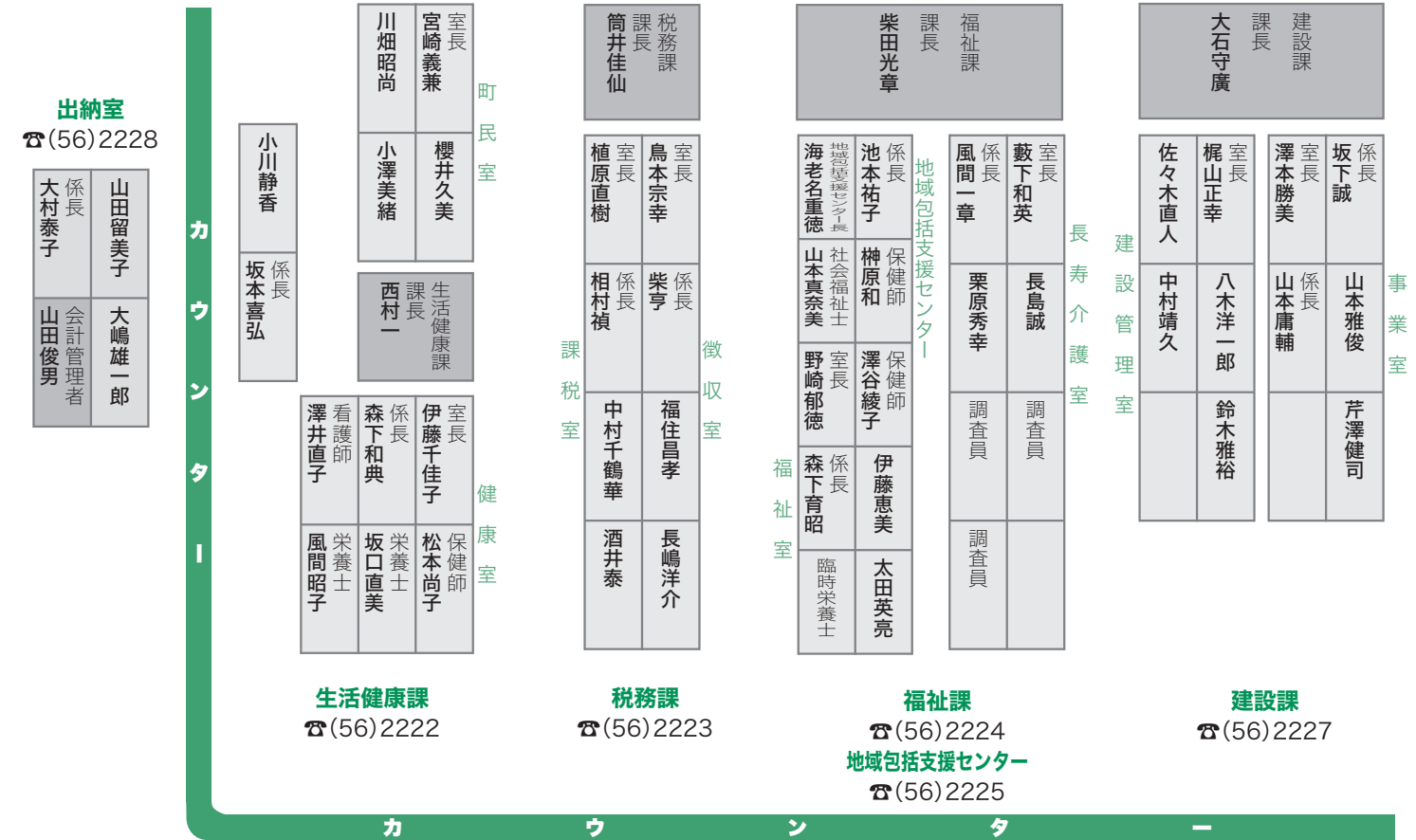


産業建設室 ☎(58)7076
管理室 ☎(58)7073
教育総務課 ☎(58)2555
ハートケア ☎(59)3666
生涯学習課 ☎(58)7080

商工観光課 ☎(58)7077
☎(58)7078
住民生活室 ☎(58)7070
福祉介護室 ☎(58)7071

- 生活健康課町民室
業務員：榊原吉衛、大石辰善、山田和豊、村松正勝、鈴木将実
- 静岡県人事交流派遣 笹木一則
- NPO法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター派遣 山岸厚史
- 文化会館 ☎(59)3106
係長：小長谷常夫 望月克規
- 本川根B&G海洋センター ☎(59)3332
主幹：平松敏浩 中村慎、瀧智之
- 奥大井音戯の郷 ☎(58)2021
係長：向島裕人 鈴木裕弥
- 学校給食共同調理場 ☎(58)7575
所長：渡辺清 高村武広、長岡弓子、生田由美子
- 農林業センター ☎(56)0506
場長：花房則告 小平勝彦

- 本川根中学校 ☎(59)2057 森下峯子
- 中川根中学校 ☎(56)0013 芹澤美代子
- 本川根小学校 ☎(59)2026 長嶋洋子
- 中川根第一小学校 ☎(57)2123 太田容子
- 中央小学校 ☎(56)0032 高嶋章
- 中川根南部小学校 ☎(56)0044 松下美智子
- 桜保育園 ☎(59)2201
園長：濱谷初江 芹澤静恵、鹿末ひろ江、和田智保、長嶋佐織、青島佳代子、仁木順子
- 三ツ星保育園 ☎(56)0043
園長：上野直子 太田みさ子、中村妙子、小澤いつ子、中田泰子、遠藤美也子、北村佳奈子、大石利絵子、太田好美
- 子育て支援施設 ☎(57)2231 駒井宗子
- いやしの里診療所 ☎(59)2102 看護師：園岡きよみ



本庁3階
局長 大村敏正
係長 宮崎悦子
議会事務局 ☎(56)2229

ホタルの光を見たいから
第一小4年生の飼育活動

中川根第一小学校

中川根第一小学校の4年生は昨年1年間、「総合的な学習の時間」を使って、ときどんの池に生息しているホタルについて調べました。

鈴木俊三さん(徳山)を小学校に迎え、ホタルの飼い方や成長の様子について教わったり、学習発表を見学してもらったりしました。

鈴木さんからホタルの幼虫を分けてもらい、学校で飼育を始めました。幼虫の餌となるカワナをホタルにあげたり、水槽の水を替えたりと、心を込めて世話を続けました。

飼育から約4カ月後の今年3月11日。成長した幼虫を、ときどんの池に放流しました。みんな「無事に成虫になってね」と願いを込めて、そっと池に放しました。

ときどんの池では、5月下旬ごろから6月にかけてホタルが見られるとのこと。今年は何匹のホタルを見ることが出来るか、子どもたちはとても楽しみにしています。



毎週水曜日の放課後、町内4つの小学校で、子どもたちと地域の人たちとの触れ合いの場として、さまざまな体験活動や遊びを共に実施する「放課後子ども教室」を計画。教育委員会では、子どもたちと一緒に活動していただける地域の皆さんを募集しています。

地域の皆さんにお願いしたい役割は①安全管理員(子どもたちの安全に配慮し、一緒に活動、指導していただく人※有償) ②ボランティア(お手伝いいただく人※無償) ③下校の見まもり(※無償)です。興味のある人はぜひご連絡ください。



安全管理員、ボランティア、下校の見まもりなど
放課後子ども教室への協力者を募集

22日(土)~23日(日)
海の子山の子交流教室
「山の体験」



今月の行事



あなただけの個展を開きませんか
町民ギャラリー&文化会館展示コーナー 展示作品を募集

本年度も、町民ギャラリーと文化会館展示コーナーに、町民・町出身者の皆さんの手作り作品を展示していく予定です。作品を展示したい人は教育委員会までご連絡ください。

作品を募集

誇り・活気・個性あふれる古里づくり
広報紙「地域で取り組む生涯学習特集号」発行

教育委員会では、平成21年度「地域で取り組む生涯学習特集号」を発行しました。

地域の魅力を生かして、誇り・活気・個性あふれるふるさとづくりをテーマに各地区でさまざまな事業を展開。その様子を紹介しています。各戸配布しますので、ぜひご覧ください。



ふるさとの自然や歴史などに親しむ活動
「ふるさと発見団」小学4・5・6年生を募集

小学4・5・6年生を対象とした「ふるさと発見団」を開催します。地域の人と一緒に自然や歴史などに親しむ活動を通して、古里の良さを発見したり、友達の輪を広げたりする活動を予定しています。

学校を通して配布する募集チラシをご覧ください。参加希望者は、学校または教育委員会までお申し込みください。

また、子どもたちと一緒に活動していただける人も併せて募集しますので、ご連絡ください。



趣味や特技を生かして楽しく学習
生涯学習講座の講師を募集しています

町民の皆さんによる生涯学習講座を開設するため、各講座の講師を募集しています。趣味や特技を生かして、皆さんと楽しく学習してみませんか。ご応募をお待ちしています。

応募資格、申込方法などの詳細は、各戸配布するチラシをご覧ください。

募集講座 趣味・実用講座、スポーツ教室 例:パソコン(エクセル、ワードなど)、手編み、手作り小物、絵手紙、俳画、水彩画、年賀状、ペン習字、ハイキング、写真、陶芸、楽器、お菓子づくり、卓球、体操、ウォーキングほか ※会場は文化会館、山村開発センターなどを予定しています。



生涯学習のひろば

教育委員会生涯学習課

☎(58)7080

石風呂にユースホステルが開業！！

夢・挑戦・勇気。オール手作りの苦心作。ぜひご利用ください。
車(トヨタノア)は、川根自動車さんで点検・整備してもらい、頑張って送迎しています。

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL:0547(56)0150



5月の特売品 好評につき!5月1日~31日まで延長

日立高圧洗浄機(一般家庭用)FAW80SA

定価21,200円のところ

3台限定!14,800円でご奉仕!

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします!

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006 ☎56-0009

日立高圧洗浄機(一般家庭用)

FAW80SA

圧力75kg/m²・高圧ホース10m

※ホームセンターでは販売していません



わたし看護師になります 看護学校の説明・相談会

県ナースセンター

日時 6月12日(土) 午後1時～
場所 静岡市民文化会館大会議室
対象 現高等学校在学学生、看護師資格取得を考えている学生・社会人
内容 看護学校(大学・短大・専門学校)についての全体説明、県内看護学校による個別相談
その他 定員:300人、費用無料、申し込みの必要なしで直接会場へお越しください。

相談できる学校 浜松医科大学看護学科(浜松市)、静岡県立大学看護学部(静岡市)、順天堂大学看護学科(三島市)、東京女子医科大学看護学部(掛川市)、聖隷クリストファー大学看護学部(浜松市)など県内21校

【問】静岡県ナースセンター
☎054(202)1761 FAX054(202)1762

労働保険料など申告時期 保険料の納付はお早めに

静岡労働局・労働基準監督署

労働保険の概算・確定保険料および石綿健康被害救済法の一般拠出金の申告・納付の時期となりました。

申告・納付は6月1日から7月12日まで。最寄りの金融機関または静岡労働局、労働基準監督署へ申告書を添えて労働保険料などを納付してください。なお申告書のみ提出する場合は7月12日までに、静岡労働局労働保険徴収課または労働基準監督署へ提出してください。

【問】静岡労働局 ☎054(254)6316

守ろう「電波」のルール 電波利用の環境保護期間

総務省東海総合通信局

6月1日から10日まで、電波利用環境保護周知啓発強化期間です。不法電波は犯罪です。電波のルールを守りましょう。電波には免許、無線機には技適マーク。不法無線局の取り締まりを実施しています。

【問】総務省東海総合通信局
不法無線局の相談 ☎052(971)9107
TVなど受信相談 ☎052(971)9648

職場でのトラブルを解決 無料相談会を実施中です

県社会保険労務士会総合労働相談所

解雇・雇用止め、賃金不払い、過重労働、労災事故、セクハラ・パワハラ、休職問題、年金問題など、職場でのトラブルを解決するため、総合労働相談所では社会保険労務士による無料相談会を実施しています。

場所 静岡労政会館5階
時間 午後3時～7時30分

22年日程

5月11日(火)、6月1日(火)、7月6日(火)、8月3日(火)、9月7日(火)、10月5日(火)、11月2日(火)、12月7日(火)

23年日程

1月11日(火)、2月1日(火)、3月1日(火) ※予約申し込みをする場合は、次の問い合わせ先までお電話ください。当日、特設会場へお越しいただいても受け付けできます。

【問】静岡県社会保険労務士会総合労働相談所 ☎054(247)5920
http://www.sr-shizuoka.or.jp/

県立藤枝特別支援学校が 催し・体験入学のご案内

藤枝特別支援学校

1 ふじようまつり開催

日時 6月5日(土) 午前9時30分～
場所 県立藤枝特別支援学校
内容 みこし練り歩き、太鼓演奏、遊びコーナー、作業作品の販売、近隣作業所即売会、ふれあいコンサートなど ※公共交通機関をご利用ください。

2 わんぱく教室開催(小学部)

就学前療育と相談を実施します。まずは説明会にご参加ください。
説明会開催日 5月20日(木)
対象 藤枝特別支援学校への就学を検討している5歳児(平成22年4月1日現在)
締切 5月7日(金)

3 小学部・親子体験入学開催

説明会 9月28日(火)
午前9時20分までに受付
実施予定日 9/29、30、10/1のいずれかを予定しています。

4 中学部・親子体験入学開催

説明会 5月31日(日)
午前9時20分までに受付
実施日 9/30、10/1

5 高等部・親子体験入学開催

説明会 5月7日(金)
午前9時20分までに受付
実施日 6/9、10、11、16、17、18

【問】県立藤枝特別支援学校
☎054(636)1891 FAX054(636)3241

銃砲刀剣類の登録審査会 所有者の皆さん忘れずに

県教育委員会文化課

次のとおり審査会を実施します。
日時 9月14日(火)、12月14日(火)
場所 静岡総合庁舎本館7階⑧会議室
受付 午前9時30分～12時
その他留意点 ①警察署に銃砲刀剣類発見届けを提出後、速やかに登録してください。登録証のない状態での所持は不法所持となります。②審査会場の部屋は変更する場合があります。当日、庁舎内掲示板でご確認ください。③登録申請者は原則発見届出者本人ですが、特別な事情がある場合は代理人を立てることもできます。くわしくはお問い合わせください。④新規登録の場合は次のものを用意してください。①登録しようとする銃砲刀剣類 ②警察署交付の刀剣類発見届出証 ③運転免許証など身分証明できるもの ④登録申請書(当日入口付近にも備えます) ⑤手数料 ⑤登録希望件数が多数の場合、前日までにご連絡ください。

ご不明な点は次までお問い合わせください。
【問】県教育委員会文化課文化財保護班
☎054(221)3157

海を舞台に自立心や協同 性育てる焼津青少年の家

県立焼津青少年の家

1 未来に向かってこぎ出そう

大自然の中でカヌー・カッター漕艇や海釣りなどを家族一緒に体験し、家族のきずなを深めます。ご家族揃ってご参加ください。

実施日 6月5日(土)、6日(日)
(1泊2日で実施します)

場所 焼津青少年の家、小川港周辺
定員 15家族(約60人)
費用 小学生以上:4,500円
3歳～未就学児:3,100円
3歳未満:1,300円

申込方法 5月18日(火)午後5時までに、下記問い合わせ先まで電話で申し込んでください。定員を超えた場合は抽選となります。

2 チャレンジスクール2010夏

自然と触れる活動を通して、自然への畏敬の念、親しむ心をはぐくみ、子どもの自立心や協調性、責任感を育てます。
プレ 7月19日(日)(保護者同伴・日帰り)
メイン 8月7日(土)～12日(木)(5泊6日)
場所 焼津青少年の家
定員 80人(小学5、6年、中学1年)
費用 18,000円
申込方法 5月28日(金)までに所定の申込書を郵送。申込書は次の問い合わせ先まで請求してください。定員を超えた場合は抽選となります。

【申・問】県立焼津青少年の家
〒425-0041 焼津市石津2259-408
☎054(624)4675

軽自動車除く自動車対象 自動車税の納付忘れずに

県藤枝財務事務所

自動車税は5月31日までに納めましょう。自動車税は毎年4月1日現在、運輸支局に登録されている自動車の所有者(ローンで購入した自動車でも売り主が所有権を留保しているものは買い主である使用者)に対して課税されます。なお5月20日までに自動車税納税通知書が届かない人(軽自動車は除く)は次までご連絡ください。

5月31日まではコンビニ納付もできますので、ご利用ください。
【問】県藤枝財務事務所課税第1課自動車税班 ☎054(644)9122

事件を起訴してくれない 「検察審査会」に相談して

静岡検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。そんな不満を持っている人は、検察審査会にご相談ください。相談や申し立ての費用はかかりません。また、秘密は固く守られます。
【問】静岡地方裁判所内静岡検察審査会事務局 ☎054(252)6111

心のコラム

川根本町自死予防対策プロジェクトチーム

わたしは気が付くと、いつも動物と一緒に生活してきました。インコを飼ったり、幼稚園時代は迷い犬を拾って、親を困らせたりしました。今も玄さんと蜜柑という名の犬と一緒に暮らしています。犬は人間の7倍の速さで走ります。10歳の犬は人間の70歳相当になります。もの言わぬ犬に話を聞いてもらい慰められたことも、逝ってしまいそうな犬を撫でながら、寄り添ったこともありました。

人によっては「死んでしまうとかわいそうだから動物は飼わない」という人もいます。わたしは、縁あって一緒に生きていくことが許されるのならば、一緒に生きていくと振り返ることができるのならば、何度でも犬と共に生きていきたいと思っています。

動物や植物などは、心を癒す力を持っています。高齢者の施設や子どもの施設などでは、動物と触れ合うことで笑顔が生まれます。

トビが空を飛んでいるのを眺めたり、山並の美しさを感じたりと、どんな失敗をしてもありのままを受け入れてくれる自然はとても寛大です。

咲いているたんぽぽやウグイスの鳴き声に気付けば、わたしの心は元気です。玄さんと蜜柑に大声で

「こんなところで、何やっているの」と眉間にしわ寄せて怒鳴っていたら、ちょっと心は疲れ気味。甘えて八つ当たりをしている自分を感じて、わたしは心の元気を計っています。

あなたのそばにいる人の「心の元気度」はいかがですか。

生活健康課 松本尚子

【問】いやしの里診療所
☎(59)2102



世帯数	3,075	世帯(+1)	[46]	出生	2人	[0]
総人口	8,576	人(-44)	[75]	死亡	9人	[0]
男性	4,193	人(-25)	[17]	転入	36人	[5]
女性	4,383	人(-19)	[58]	転出	73人	[3]

今月の納期

◆固定資産税・第1期分

◆水道使用料・第1期分

納期限は5月31日です。口座振替の人は5月31日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。

税務課 ☎(56)2223

健康の話

知ってトクする

41



今月の執筆者
伊藤千佳子保健師

今月の**知ってトクする健康の話**
のテーマは「心臓のいたわり方」。
伊藤千佳子保健師がご紹介します。

このページでは、カゼの予防、健康診断、心のケア、食に関する豆知識など、皆さんが日頃気になっている健康に関するよもやま話を、保健師・栄養士・看護師の皆さんがリレー形式でご紹介しています。

心身ともに疲労がたまりやすい季節となりました 心臓をやさしくいたわるためのアドバイス

里いつぱいに広がる新茶と、山の新緑が美しい季節となりました。と同時に茶農家の皆さんは、新茶の採りや一連の農作業でもっとも多忙な体負担のかかる時期でもあります。高齢の親と共に茶畑に立つことがあ

るわたしは、この季節になると必ず「皆さんが、事故や傷病に見舞われることなく、無事にこの時期を乗り切れますように」と願っています。心身両面に疲労がたまりやすい季節です。狭心症や心筋梗塞など、急激な心臓疾患発症を予防するために、今月は「心臓をやさしくいたわる方法」を紹介します。

入浴 入浴は健康に良いとされていますが、熱い湯は心臓の動きを活発にし、負担を大きくします。40度前後のぬるめのお湯で半身浴するのが良いでしょう。首までつかると水圧で血管が圧迫され、心臓に負担がかかります。肺の弱い人も気を付けてください。熱がある、胸が痛む、めまいがある、脈が速い、咳痰が出るなど、少しでも体調の悪いときは入浴を避けましょう。

たばこ たばこは、心臓に栄養を送る大切な血管「冠動脈」を細くし、心筋に酸素を供給する血液量を少なくして、狭心症を引き起こす危険性も高まります。また、たばこを吸っている風邪や肺炎を起こしやすくなり、それらの病気が心臓に負担をかけることにつながってしまいます。心臓の弱い人はもちろんのこと、どなたさまも、ちょっとした心配りで心臓をいたわってあげてくださいね。ご自愛ください。

思わぬ負担がかかるものです。洗面には人肌程度のぬるま湯を使う習慣を付けましょう。

起床 朝、目が覚めても体はまだ完全に目覚めていません。心臓の働きも鈍く、血液循環も悪くなっています。目覚めた途端にぱっと跳び起きたりせず、10分くらい布団の中で、ゆっくりと体を起こすようにしましょう。

睡眠と休養 適正な睡眠時間には個人差がありますが、平均的には一日7-8時間が適当とされています。茶時期はどうしても早朝から夜遅くまで作業するため、睡眠時間も短くなりがち。事故などを防ぐため、少しでも体を横にして、休養できるように努めましょう。

トイレ トイレで注意したいのは寒さと姿勢。特に和式トイレにしゃがむという姿勢は血圧を上げ、心臓の負担を増す心配があります。適度な温度と、可能ならば洋式便器の設置が理想です。また便秘に伴ういきみも心配です。血圧を上げ、心臓に負担をかけてしまいます。一日一回排便があるよう習慣付けたいもの。野菜を多く食べたり、寝る前に水分をとるのも一つの方法です。ただし、摂取量に制限のある人は主治医の指示に従ってください。

男性は日本酒なら1合、女性なら半合くらい。ビールなら350ミリリットルくらいが目安です。

静岡大学・読売新聞共催 食に関する市民講座開講

静岡大学生涯学習教育研究セ・読売新聞東京本社静岡支局

わたしたちの生活に欠かすことのできない「食と健康」。静岡大学の教員が、食と健康に関する研究の最前線を紹介いたします。(全8回・参加無料)

●市民講座 未来につなぐ、食と健康

前期：テーマ「食」

第1回日時 5月8日 午後2時～ 「食の安全性について」

第2回日時 6月5日 午後2時～ 「発酵の仕組みと酵母の秘密」

第3回日時 7月3日 午後2時～ 「機能性食品としての緑茶」

第4回日時 8月7日 午後2時～ 「日本の伝統的食生活・再考」

後期：テーマ「健康」

第5回日時 9月4日 「医療情報を読み解く」

第6回日時 10月2日 「アウトドアスポーツと健康」

第7回日時 11月6日 「遺伝子と健康」

第8回日時 12月4日 「医療と生命の倫理」

※後期内容は変更する場合があります。※どの回から参加しても構いません。前・後期あわせて6回以上参加した人には修了証を発行します。

定員 各回とも120人

会場 静岡市産学交流センターB-nest 6階プレゼンテーションルーム 静岡市葵区御幸町3-21

【問】読売新聞静岡支局静岡大市民講座係 ☎054 (252) 0171 FAX054 (252) 0310

E-mail shizuoka@yomiuri.com

静岡大学生涯学習教育研究センター ☎・FAX054 (238) 4817

E-mail LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

B&G海洋センターから 楽しみながら体力向上を

本川根B&G海洋センター

本川根B&G海洋センター2階トレーニングルームは、100円の料金で、さまざまなトレーニング機器を利用できます。トレーニング機器で、楽しみながら基礎体力をつけませんか。

トレーニングルームを利用するためには、講習会(1時間半程度)を1回受講する必要があります。

平成22年度の講習会は下記の予定で実施します。ぜひご参加ください。

講習会日時

第2回 6月9日 午後7時30分～

第3回 8月11日 午後7時30分～

第4回 10月6日 午後7時30分～

第5回 12月8日 午後7時30分～

第6回 2月9日 午後7時30分～

場所 本川根B&G海洋センター

受講料 300円

持ち物 タオル、体育館シューズ、水筒(必要であれば)、着替え

※受付をしますので、開始5分前(7時25分)には集合してください。

【問】本川根B&G海洋センター ☎ (59) 3332

子宮頸がん予防健康講演 最寄りの会場でご参加を

生活健康課

わが国では20歳から39歳までの若い女性の子宮がんが増えており、特に30歳代の子宮頸がんの死亡数は急激に増えています。将来の子宮頸がん発症を

予防するためには、できるだけ若い時期から対応を始めた方が良いため、本町では平成22年度、「子宮頸がんワクチン接種費用助成事業」を実施します。

本事業に先がけ、ワクチン接種費用

助成対象者およびその保護者、町民の皆さんを対象に「子宮頸がん予防健康講演会」を開催します。ワクチン接種前に、子宮頸がん予防ワクチンの特徴や有効性について理解を深め、将来の子宮頸がん発症を予防することが目的です。講演会は2回開催。最寄りの会場に、ぜひお越しください。

講演会① 総合支所2階会議室

日時 5月7日 午後7時30分～ (受付：午後7時10分～30分)

講師 J A静岡厚生連 静岡厚生病院産婦人科 中山毅医師

講演会② 山村開発センター2階大会議室

日時 5月15日 午後7時30分～ (受付：午後7時10分～30分)

講師 J A静岡厚生連 静岡厚生病院産婦人科 石橋武蔵医師

※ワクチン接種費用助成対象者：町内に住所を有する中学1年生～満29歳の女性(満29歳とは平成22年4月1日時点で満29歳の人)

【問】役場生活健康課 ☎ (56) 2222

5月1～7日は憲法週間 法廷の見学や各種説明会

静岡地方裁判所

裁判所では、5月3日の憲法記念日を中心とした5月1日から7日までを憲法週間と定めています。各地の裁判所では例年この時期に、法廷などの見学ツアーや各種説明会などの催しを積極的に実施しています。興味のある人は最寄りの裁判所の総務課にお問い合わせください。

●裁判例情報、司法統計、見学・傍聴案内などの情報

http://www.courts.go.jp/

●裁判員制度のくわしい情報

http://www.saibanin.courts.go.jp/

【問】静岡地方裁判所事務局

☎054 (252) 6111 FAX054 (252) 6116

静岡県同一荒茶による仕上げ技術競技会
2年連続金賞受賞
迅速、丁寧に荒茶仕上げ加工～袋詰め
承ります。お茶のこと
お気軽にご相談下さい
川根本町上岸110番地
新坂本園 電話：59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工
藤田石材店
川根本町上長尾861-35 ☎・FAX0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177



写真左上/修了証を受け取る芹澤一志さん 左下/修了式後に講演会を開催した右/修了証を手に笑顔を見せる長濱寛二郎さん、青天日常作さん、松岡正子さん

千年の学校 第8期修了式を挙行。充実の1年間を振り返る。

温もりあふれる修了証・学生18人に授与

地域を再発見する学び舎「千年の学校」の第8期修了式は3月20日、文化会館保健研修室で挙行されました。第8期の学生に授与された修了証は、槐の木で作られた独特の形状をしています。これは、学生の一人である松本修さんが心を込め、一つ一つ手作りでしたものです。18人の学生が受け取りました。

修了生を代表して、鈴木ちづさん（千頭）が1年間を振り返っての感想を述べました。「今年から始まった日用品づくりの竹かごづくり。一つのを完成させることの大変さや町にある素晴らしい素材を再発見できたことをうれしく思います。これからも生き生きと活力ある魅力的な町であり続けるよう、自分ができることを頑張っていきたいと思います」。

修了式後には、記念講演会が開かれました。講師として招かれた（社）静岡政経研究会地域・産業研究所田中孝治所長が「住民参加による大井川流域の新たなまちづくり～ふるさと山河誌大井川・南アルプス紀行～」をテーマに講演。大井川流域のすばらしい自然や歴史、文化、暮らし、人などの地域資源を、町外に向けて情報発信していくことが、地域活性化への道すじとなることを学びました。講演を聴講した学生たちは、地域づくりの担い手として、熱心に耳を傾けました。

槐は中国原産。周の時代、宮廷の庭には3本の槐が植えられ、朝廷の最高位である三公はそれに向かって座ったという。このため中国では「尊貴の木」と称され尊ばれている。学問の権威として「千年の学校」にふさわしい修了証といえるだろう。

rediscovery

生徒に熱くかわり、良さを見つければ、伸ばしていきたい

川根高等学校 校長 河原崎全

column

川根高校に赴任して2年目を迎えました。地域のみなさんに支えられ、昨年度も充実した教育活動ができたと思っています。ありがとうございます。

さて今春、すがすがしい65人の若者が川根高校を巣立ちました。就職者が21人、大学・短大への進学35人、専門学校への進学などが9人となっています。それぞれの生徒が、進路希望の実現に向けて努力した成果が表れました。

わたしが着任した一年前、明るく元気の良いあいさつ、温かい人柄、ごみ一つ落ちていないきれいな校内に感動し、「まるでDisneyランドのようだ」と思ったことを思い出します。その思いは、一年が経過した今も変わることはありません。

4月7日、新たに63人の生徒が本校に入学しました。生徒一人一人が、それぞれの進路希望を達成し、本校で学んだことに満足感を持って卒業していきけるよう、わたしたち教職員は「生徒に熱くかわり、生徒の良さを見つけ、伸ばしていきたい」と思っています。地域の皆さんにも、温かく見守っていただけたらと思っています。

川根高校は次のような生徒を育てたいと考えています。

4月7日の入学式。63人が希望に胸ときめかせる。



- 1 自分の気持ち・考えを表現できる
 - 2 置かれている状況を理解し、行動できる
 - 3 協調性があり、他人を思いやることができる
 - 4 社会人としての基本的マナーや教養が身につけている
 - 5 健康・安全への高い意識を持っている
- これらを踏まえ、平成22年度の重点目標を次のように設定しました。
- 授業において自分の考えや意見を積極的に述べるができる。
 - 授業が分かる生徒を70%以上に。
 - 毎日1時間以上、家庭学習に取り組む生徒の割合を80%以上に。
 - 新聞を毎日読む生徒を70%以上に。
 - 図書館の利用率の向上（対前年度）
 - 部活動、生徒会活動などを通して、主体的に考え行動する力を身につける。
 - 自己肯定できる（自尊心が持てる）生徒の割合を70%以上に。
 - あいさつ、服装、言葉遣い、時間を意識して生活する生徒を80%以上に。
 - 部活に熱心に取り組む生徒を80%以上に。
 - 自己健康管理のために努力する生徒を80%以上に。
 - 各自の進路目標達成のために、3年間継続的に努力できる。
 - 進路指導に満足する生徒を90%以上に。
 - 就職内定率を90%以上に。
 - 国公立大学合格者数の目安5人以上。
 - 本校の教育活動について地域・PTAに一層理解をお願いし、マンパワーの協力を得る。
- 川根高校について、お気付きの点やご意見などありましたら、河原崎まで気軽にご連絡ください。

www.town.kawanehon.shizuoka.jp



あなたの知らない川根本町がここに

くらしの情報、行事紹介、まちの話題が満載。町ホームページは、あなたの訪問をお待ちしています。川根本町の今を知るなら「川根本町ホームページ」。

より良い品を より安く

オザワマート

営業時間・午前9時～午後7時
川根本町上長尾 ☎56-1108 FAX56-1109

平成22年5月8日・9日に交換できます。

11000ポイント引換券

1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。千円分お得です。最高2万円まで販売します。この券を切り取ってお持ちください。オザワマート

▶今月の広報は、表・裏ともピンク一色に染まった。今は美しい姿を見せてくれる徳山の桜並木も、長島ダムのシバザクラも、最初からあの姿だったわけではない。年月をかけ、多くの人の手がかけられ、今の姿がある。普段、花を見れば、その美しさにばかり目を奪われがちだ。しかしそこにはたくさんの人の思いがあり、積み重なった苦労がある。それを忘れてはならないと、肝に銘じながらカメラを構えた。表紙の2人はこの日、浜松市からこの町に訪れてくれた仲むつまじいカップル。その2人を見て、以前取材した



地元の人の言葉を思い出した。「この桜まつりは、町外から来てくれる人も多いんだよ。うれしいよね」。実感した。快く取材に応じてくれた山崎さん、三井さんに感謝~v~

▶毎年、多くの人から希望される「職員の配置(異動)表」を今月号で掲載。実際の座席表を参考にして、皆さんが分かりやすく使いやすい表になるよう工夫した。しかし2日ばかりで作った割には、あまり見栄えが良くない気が…。まだまだ工夫が必要か…。

▶広報担当5年目に突入した。最近親しくなった人は、毎年一つ「目標」を立てると良いと言った。その人は昨年、「吸収力」という目標を立て、意識しながら毎日を過ごしたそうだ。それを達成すべく努力し続ける限り、その人の向上心に終わりはない。その人の話を聞きながら、目標一つない自分を反省した。今さらではあるが、わたしも目標を立ててみようかな。ちなみに、その人の今年の目標は……。

名誉のため「内緒」ということで。出会って大切だ。

小笠原聡
afterword

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
高郷	坂口 快月	男	栄之
下長尾	藤森 真菜香	女	真輔

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
奥泉	坂井 紀彦	奥泉
	小村 理恵	大谷
寺馬	風間 一章	寺馬
	巻田 多恵子	小長井

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
奥泉	的場 徹	61	洋子
上岸	森下 貞雄	86	つゆ
藤川	小池 節義	57	洋平
水川	鈴木 きぬゑ	92	誠
八中	中村 琴	67	泰治
下長尾	中野 幸逸	99	順一
下泉	勝山 良平	87	茂
壺町河内	的場 ヤス子	90	正明

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口(本庁・総合支所)で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課 ☎(56) 2222

family registration

お詫び 広報かわねほんちょう4月号7ページの記事について、さゆり幼稚園園長先生の名前が松下文江さんとなっていました。正しくは松下文代さんでした。誠に申し訳ありません。訂正してお詫び申し上げます。

1歳になったばかりのお友達を紹介
生まれてくれてありがとう

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ😊



橋本 煌心くん

父：立生・母：千亜希

煌心1歳おめでとう！
毎日おしゃべりいっぱい、笑顔いっぱい~v~ そんな煌心を見てると、家族みんな笑顔になるよ！
これからも、いっぱい笑顔をちょうだいね♡

H21・4・5生
田代



松葉 來杜くん

父：伸行・母：千晴

あなたのあだ名は「きゅんきゅん」。
あなたの笑顔で「きゅん」つてなるから。
最高の笑顔をありがとう！

H21・4・14生
千頭西



坂本 小梅ちゃん

父：将文・母：雅子

小梅ちゃん、1歳のお誕生日おめでとう♪
すくすく成長する姿とってもうれしいよ！たくさんの笑顔を見せてくれてありがとう！
いっぱい遊んで、やさしい女の子に育ててね♡

H21・4・1生
地名

ありがとうございました
川根歌謡芸能文化祭の
チャリティ募金を町に
寄贈してくださいました

県歌謡連盟音音の会実行委員会が主催する川根歌謡芸能文化祭は4月11日、文化会館で開催され、多くの来場者が歌や踊りの世界を堪能しました。

同実行委員会では、会場に募金箱を設置。この日集まった109,537円を、福祉の向上に役立てて欲しいと、町に寄贈してくださいました。

ありがとうございました。

福祉課 ☎(56) 2224

birthday

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時~12時、午後2時~6時
(休診日：水曜、日曜、祝日)

より良い品を より安く

オザワマート

11000ポイント交換は、平成22年5月8・9日です

- 土曜日・日曜日にオザワマートのプリペイドは1万円で10,600円に！ 600円お得です！
- 日曜日・月曜日に2,000円以上お買い上げのレシートで、木曜日にお得なサービスがあります



1キャプテンのかけ声で駆け出す団員たち。後ろで見守るのは右から山本浩監督、山本高光コーチ、塩崎浩己育成会会長。子どもを見つめる目は温かい 2昔を思い出すと止まらない様子。団への思いを語ってくれた山本監督 3練習前、一番乗りした高田萌くんが重い道具を運ぶ 4キャッチボールが一番最初の練習メニュー。丁寧にボールの感触を確かめる 5ぎゅっとバットを握り、ボールを待ち構える小田切翔くん 6体験入団中の上野将輝くん。今後の上達が楽しみ 7キャッチャーからセカンドへ送球。強肩がものをいう 8藤川スポ少のヘルメット。しま模様はかすれ、伝統を感じさせる 9重みのある速球が武器、塩崎卓白くんのピッチング。一球一球、力いっぱい投げ込む姿が印象的だった



現団員わずか3人。でも続けたい、やめたくない。やっぱりソフトボールが大好きなんだ。

藤川ソフトボール スポーツ少年団

子供会の時代を含め、37年の歴史を誇る藤川ソフトボールスポーツ少年団。しかし少子化のあおりを受け、現在休団の危機に瀕している。「それでも、やりたいという子がいる限り、続けていきたい」と山本浩監督の意志は固い。4月中旬、子どもたちのかけ声がこだまする藤川地区グラウンドを訪問した。

藤川スポ少・団員募集
ソフトボールを通して心と体を鍛え、協調性や礼儀なども学びます。秋の招待試合で創部30周年を迎える藤川スポ少。みんなも仲間になりませんか。男女、ご連絡をお待ちしています。育成会会長 塩崎浩己 ☎ (57) 2991

手厚い指導のたまものだろう。「最も、子どもたちが必死で食らいつくナイスキャッチ。目一杯の力でファーストに送球する。その後ろでは、打撃練習を終えた子がバットをグロープに持ち替え、一目散に守備へと向かう。キビキビとした動作。」

山本高光コーチが繰り出すノックに、子どもたちが必死で食らいつくナイスキャッチ。目一杯の力でファーストに送球する。その後ろでは、打撃練習を終えた子がバットをグロープに持ち替え、一目散に守備へと向かう。キビキビとした動作。

この日は、全国大会に向けたポジション確認やピッチングマシンを使った打撃練習などがメイン。塩崎さんがマシンを担当し、監督も子どもと一緒に守備についていた。

山本高光コーチが繰り出すノックに、子どもたちが必死で食らいつくナイスキャッチ。目一杯の力でファーストに送球する。その後ろでは、打撃練習を終えた子がバットをグロープに持ち替え、一目散に守備へと向かう。キビキビとした動作。

「わたしが藤川スポ少にかかわって約10年。山本監督の最初の印象は『厳しい人』でした。大きな声も出すし、ときには叱ることもありませうでも、そこから教わるのがたくさんある。きつとどの子も、どこへ出しても恥ずかしくない子に成長できると思ってたんです。その指導にほれ込んで、自分の子を入団させたくらい。本当にすばらしい監督だと思います。最近は歳のせいかわ、少し丸くなりましたけど」と、当時を思い浮かべながら少し笑っていた。

午後5時からスタートしたこの日の練習。体験入団中の上野将輝くんと、監督・コーチも一緒に「もつと声を出そう」。山本浩監督のげきに、全員が大きな声で応える。キャッチボールに限らずどの練習でも、監督・コーチが子どもたちに目を配り、細やかなアドバイスを送っている。子どもたちはそのたびに「ハイ！」と元気に返事し、プレーを修正する。長年培われてきた「き

まだ肌寒さの残る4月13日の夕方、野球帽をかぶった一人の少年がグラウンドに姿を現した。「ここにちは」と、大きな声であいさつしたあと、倉庫から道具を出し、もくもくと練習の準備を始める。その少年の名は高田萌くん。中川根第一小6年生。藤川ソフトボールスポーツ少年団(以下藤川スポ少)団員の一人だ。藤川スポ少は毎週火・木曜の夕方、藤川集会所横のグラウンドで練習している。現団員は、萌くんを含めわずか3人。全員が小学6年生だ。最盛期、30人以上を数えた団員数は、この10年で減少の一途をたどり、今年度3人にまで減少してしまっただけで、単独でチームを組むことができないため、牧之原のチームと連合を組み、各地で開催される招待試合や大会などに出場しています。それとは別に、榛原クラブというクラブにも所属し、全国大会を目指し練習に励んでいます」と語る塩崎浩己さんは、同育成会会長を務めている。

練習開始から1時間と少し。今も子どもたちのバットから快音が響いている。来年の今日、ここで同じ音が聞けるようにと願いながら、グラウンドをあとにした。

「今の3人が抜けたあと、団がどうなるか、今はまだ分かりませんが。現在、勧誘も熱心にはしていますが、なかなか難しい。でもね、やりたいと思う子がいるうちは続けていきたいんですよ。ソフトが好きだし、何より子どもたちが好きだから。じゃなきゃ、30年もやれませんよ。」

監督に、藤川スポ少のこれからについて聞いてみた。

「わたしがPTA副会長を務めた37年前。子供会の球技大会が始まりました。そこで副会長職のかたわら、子どもたちの指導をするようになったんです。当時はソフトボールが盛ん。試合に勝つと、保護者と一緒になつて涙を流して喜んだものです。今も昔も、保護者の理解と協力がなければ団は成り立ちません。送り迎え一つとってもそう。そんなことも、子どもたちに教えていけたらと思っています」と、感謝の気持ちが顔をのぞかせた。

「わたしがPTA副会長を務めた37年前。子供会の球技大会が始まりました。そこで副会長職のかたわら、子どもたちの指導をするようになったんです。当時はソフトボールが盛ん。試合に勝つと、保護者と一緒になつて涙を流して喜んだものです。今も昔も、保護者の理解と協力がなければ団は成り立ちません。送り迎え一つとってもそう。そんなことも、子どもたちに教えていけたらと思っています」と、感謝の気持ちが顔をのぞかせた。



ここにも、一つの物語。広報かわねほんちょう

地域に開かれた「長島ダム」の春の風物詩

色鮮やかピンクの絨毯 長島ダム斜面に春ふたたび

平成14年から、ダム斜面を彩るシバザクラの植栽に取り組み始めた長島ダム。18年の春には見事なピンク色のじゅうたんが姿を現しました。そして今、鹿の食害という危機を乗り越え、再び華やかな春が訪れた長島ダムをリポート。



問い合わせ
●長島ダム管理所
☎(59) 1021
●総合支所観光商工課
☎(58) 7077

地域に開かれたダム「長島ダム」では、ダムサイト右岸斜面に、平成14年度からシバザクラの植栽を始めた。試行錯誤を重ねたこの植栽活動は4年がかりで結実し、平成18年5月、同斜面一帯に美しいピンク色のじゅうたんが姿を現した。

新聞紙上でも大きく取り上げられたこのシバザクラ。ピンク色の美しいじゅうたんを一目見ようと、町内外から多くの来場者が訪れた。関係者は、長島ダムの春の風物詩になるだろうと期待を込めた。

しかしその年の冬。鹿の食害に遭ってしまった。新芽や花芽を根こそぎ食べられ、土壌も荒らされてしまった結果、次の春、シバザクラは花を咲かせることはなかった。誰もが落胆の色を隠せなかった。

ピンクのじゅうたんを復活させよう。そんな思いで立ち上がった大井川長島ダム流域連携協議会と長島ダム水源地域ビジョン推進会議、流域の住民や花の会の会員、地元住民らの手によってふたたびシバザクラの植栽が始まった。一昨年3月に約930平方メートル、昨年3月には約2,800平方メートル、今年3月には約1,600平方

メートルの斜面に全部で9000株ものシバザクラが植えられた。これは同斜面全体のおよそ30割に当たる面積だ。これら植栽した箇所には鹿除け用ネットを設置。食害防止に効果を発揮している。

今年4月、ピンク色のじゅうたんがふたたび姿を現した。

シバザクラを管理する国土交通省中部地方整備局長島ダム管理所では「多くの皆様のご協力によって、ダムサイトの斜面にシバザクラが戻り、本当にうれしく思っています」と話していた。

例年、シバザクラの開花は4月下旬と言われているが、今年が開花が早く、4月上旬には大部分が咲きそろっていた。

もしかすると、シバザクラが喜びの声を上げている…のかも

しれない。

